



第6回 東京情報 大学ビジネスコンテ スト 実施概要

主催： キャリア委員会

開催目的と教育的意義

- コンテストの目的
 - 学生が社会や企業の問題を発見し、解決策をビジネスプランとしてまとめることを目的としています。
- 教育的意義
 - 課題発見能力、論理的思考力、実行力、社会理解力を総合的に養うプログラムです。
- 多様な参加形態
 - 全学部学生や大学院生が個人またはチームで参加し、多様な知識や経験を活かします。
- キャリア形成支援
 - 課題分析や解決策企画の経験が就職活動や起業活動に役立ちます。発表経験も能力向上に繋がります。

コンテストテーマと参加ルール

- コンテストテーマの概要
 - 社会や企業の問題や身近な不満を解決する提案などについて、自由なテーマ設定です。
 - 校友会とOB企業からの提案テーマもあります（後で説明）。
- 応募形態と参加条件
 - 個人またはチームでの参加が可能で、応募数制限は無く、複数チームへの所属も認められています。
- メンタリング制度
 - 希望チームにはメンター教員が実践的な助言を提供します。初めてのビジネスプラン作成でも安心のサポート体制。
- 事前書類審査あり
 - 応募チームが多すぎるときに、発表時間を確保するため（最大10チーム）、事前に仮資料を提出してもらい審査を行います。

実施のながれ

- WebClassの「ビジネスコンテスト」コースへアクセス
 - 本日のスライド資料等も掲示しています
 - 応募開始： 8月1日より
- メンター希望チーム応募（9月13日まで）
 - 仮提案書応募完了後、応募代表者の大学メールアドレスに、メンター教員との打ち合わせ日程調整のメールを送信します
- 通常応募（9月30日まで）
 - 仮提案書応募
- 事前審査結果発表（10月12日）
 - 仮提案書を基にキャリア委員が審査
 - メンター希望チームは、発表資料作成のためのメンター教員との打ち合わせを、12日から23日までに実施
- 発表用資料アップロード（10月23日締切）
- 発表会（10月24日翔風祭初日 10:30~12:30を予定）
 - チームのうち1名以上が参加・発表すること
- 表彰発表（10月25日）

テーマはかなり自由

- 自由なテーマは、逆に何を採り上げればよいか悩むかも. . .
- そんな人のために、情報大OB達が一肌脱いでくれました！
- 情報大校友会（卒業生の会）からの提案テーマ（検討中）
- 情報大OB企業 Exist Japan株式会社社長からの提案テーマ2件
- 株式会社IRODORI提案テーマ1件



Exist Japan株式会社 代表取締役
2006年卒 今長 学 氏



校友会長 1995年卒
野澤 和雅 氏

Exist Japan株式会社提案テーマ

三日坊主ストッパー ～「続かない」を終わらせる商品・サービスをつくれ～

- 勉強、筋トレ、ダイエット、英語学習、日記、貯金……
 - 人が「やろう」と決めたことの多くは、数日で止まってしまいます
 - 続かないのは意志の弱さではなく、「続けさせる仕組み」がないからだと思っています
- 「継続率」に悩む業界は非常に多い！
 - 教育、フィットネス、健康、習い事、企業研修など、対象は何でも構いません。
 - 人を三日坊主にさせない商品・サービスそのものに、大きなビジネスの種があると思っています。

Exist Japan株式会社提案テーマ

街の店、平日14時～17時はガラガラ問題

- どんな店舗にも、空いている時間がある事実
 - カフェや定食屋はランチ後の14時～17時
 - 居酒屋は昼間まるごと
 - カラオケ店・美容室・ジムは平日の昼下がり
 - 特に地方都市には数多く見られます
- 週末や夜は混むのに、この「アイドルタイム」だけが埋まりません
 - 家賃や人件費は営業している限りかかり続ける
 - この空白の時間帯を少しでも埋められれば、店の利益は大きく変わります。
- 一方でこの時間帯は、学生の空きコマや放課後とちょうど重なるのも事実
 - 若者は「安く・空いていて・気兼ねなく」過ごせる場所を求めているのに...
 - 店側の発信は混雑時間帯のPRに偏りがち
 - 両者を継続的にマッチングする仕組みはまだありません
- 学生の皆さんの「空きコマ、何しよう」という感覚こそが武器になるテーマです。

株式会社IRODORI提案

新しいアグリテック(農業におけるICT活用)を提案する

- 農業従事者は減少の一途をたどっているが．．．
- 新しい情報通信技術（ICT）も採り入れられつつある
 - ICT制御の自動農業機械、ロボット
 - 地理情報システム、センサーネットワーク、ドローン、e t c
- 農産物の栽培だけでなく、流通・販売にもICTは重要な役割
- 国家安全保障上も農業は重要産業
 - 世界情勢の不安定さが、日本の輸入食糧事情を悪化させる
- 新しいICT活用で農業をパワーアップ！

応募に必要な仮提案書

- 課題の背景説明
 - 市場や顧客、社会が抱える問題
 - 現状の不満・非効率、なぜそれが未解決なのか
 - **企業提案テーマでは明示されているので、基本的には不要だが、自分たちでより膨らませてみるのも良い**
- 解決策（アイデア）
 - 提供するサービス・商品、手段、仕組み
 - どのように問題を解決するか、既存手段との違い
- これら2点のラフな提案を、WebClassにアップロードしてもらう（PowerPointあるいはWord）

発表会資料の内容

- 仮提案書の内容を充実させ、かつ下記項目を**可能な範囲で**説明する
 - **仮提案書に下記のラフな内容を含んでもよい**
- 市場分析、競合分析
 - ターゲット顧客（年齢・属性・行動）
 - 市場規模
 - 成長性・トレンド
 - 既存の競合企業・サービス
- ビジネスモデル（収益を目指さない社会課題解決の場合はなくてよい）
 - どこでお金を稼ぐか
 - 価格設定、コスト構造
- 実行計画、リスク
 - 提供方法（アプリ・店舗・オンライン、行政サービスなど）
 - 必要なリソース（人・資金・技術）、技術的課題
 - 実現までのプロセス（過程）
 - 想定される失敗要因と対策

市場分析、競合分析、ビジネスモデル！？

- そんなこと言われても、よく分かんないし．．．
- そんなときこそ、対話型AIを活用しよう
 - 知らないことや、思いつかなかった多様な視点を、教えてもらう
 - データ収集やその可視化を手伝ってもらう
 - 対象とする業界や市場の現状を分析・解説してもらう
 - 自分たちで考えたことを対話型AIに与えて、意見をもらう
- Microsoft365に大学アカウントでサインインして使うCopilot
 - ChatGPT-5.6を主とした対話型AI
 - 大学が契約しているので、安全に使用できる
 - プロンプト入力内容をAIの学習や広告に使われたりしない
 - ただし、示される情報は、しっかりウラを取ろう！
 - 同時に示されるWebのリンク先を確認してみる
 - 古い情報や、間違った情報が含まれる場合もある

ビジネスプラン提案例

大学生のスキマ時間活用アプリ

- 赤字部分は作成時の注意事項
- **アプリ名：Campus Boost（キャンパスブースト）**
- 課題と背景
 - 大学生は1日に平均30分～2時間程度の空き時間が発生する（本当？）
 - 何をすればよいかわからない
 - SNSやスマホゲーム、スマホ漫画、動画視聴で時間を消費してしまう
 - 就活や授業課題、資格勉強が後回しになる

解決策： AIが空き時間に応じて最適なタスクを提案するアプリ

- あらかじめ、実行したいタスク、分野・内容・関心なども入力しておく
- 授業スケジュールと連携し、自動で通知
- 例) 5分空いた
 - 英単語10問
 - ニュース要約1本
- 15分空いた
 - SPI問題3問
 - 英会話アプリ学習
- 30分空いた
 - TOEIC学習
 - プログラミング課題
 - 授業課題

ターゲット顧客と市場規模分析

- メイン
 - 18～24歳大学生 (200万人 ちゃんと調べよう)
 - 特に就活生 (40万人)
 - 資格取得を目指す学生 (50万人 ちゃんと調べよう)
 - 意識の高い学生
- サブ
 - 専門学校生
 - 大学院生

収益モデル

- アプリ利用者10万人、有料率5%
- プレミアム会員（月額500円）
 - $10万 \times 0.05 \times 500円 = 月250万円$
- 就活企業広告：企業が学生向けに掲載
 - 料金（どのくらいが相場なのか調べてみよう）
 - クリック課金
 - 成功報酬型
 - インターン募集
 - 会社説明会の案内
- 資格講座アフィリエイト
 - 提携先：
 - TOEIC講座
 - プログラミングスクール
 - FP（ファイナンシャルプランナー）講座
 - 英会話AI練習アプリ
 - 1人成約で数千～数万円の成果報酬

競合との差別化

- Campus Boost
 - AI提案
 - 学習 + 就活
 - スキマ時間活用特化

競合	強み	弱み
Studyplus	学習記録	就活機能なし
TimeTree	スケジュール管理	学習提案なし
TOEICアプリ	専門特化	汎用性低い

もうちょっとこの表を充実させてもいいね

実行計画、リスクとその対策

- 当初は最小機能のアプリを開発
 - AIではなく、ルールベースならもっと簡単に作成可能
 - 例) 5分なら英単語暗記を提案
- 本当に大学生が使いたい？
 - 友人の大学生40名にGoogleフォームでアンケート
 - 「空きコマの過ごし方」を調査
 - スキマ時間への不満
 - 就活や資格勉強の悩み
 - アプリを紹介したうえで
 - 利用意思、課金意思の確認
 - 70%が使ってみてもよい、と回答！（実際に調べてみよう）
- 継続使用してもらえるアイデア
 - ゲーミフィケーション
 - ポイント制度
 - 友達ランキング

まだまだリスクと対策はあるはず！
ただし、発表時間7分で紹介できるのか！？

社会課題解決の例

災害時に必要な物品をどう準備・蓄積するか？

- 背景

- 大規模災害時には電気・通信・交通機関が停止
- 学校・企業では大人数が帰宅困難になる
 - どう備える？
 - 留まるために必要な物品は？
- 災害時だけでなく、日常にも使えるものを準備・蓄積する
＝デュアルユース物品

- 提案

- 大規模災害時のデュアルユース物品として、〇〇を提案し、大学で準備・蓄積・利用する

情報収集は拡散と収束を繰り返す

- 課題（背景）と解決法（アイデア）が生まれると、それ以降の収益化や実行計画、特にリスクやその対策は膨大に生じうる
 - とりあえず、調べる項目を沢山挙げてみる（拡散）
 - どの項目を重要視して掘り下げるか検討する（収束）
 - メンバーで分担して情報収集する
 - AIに収束を依頼することもできるが、自分たちの感覚も大事
- 発表時間は7分と限られているので、充分収束させる必要あり

メンター教員に助言をもらおう

- なんでもAIにお願い！？
 - AIにビジネスプランへの助言をもらう
 - AIにプレゼンのスライドを作らせてみる
- 結構分かりづらいものが出てきたりする
 - 専門用語をそのままにしない
 - 分からない用語は調べて理解しておく
 - 特にプレゼンスライド作成は、あてにならない！！
- ここは経験ある人間（メンター教員）に助言をもらおう
 - これまでの経験から、どこに着目すべきか、多様な視点を提供できる
 - 教員は、授業で学生に分かりやすく説明する訓練を積んでいる

おわりに

- ビジネスコンテスト参加
 - チームワークを実践（個人でも可）
 - 協働力、課題発見力、計画立案力を高める
 - ガクチカに最適！
- ここで検討したビジネスプランを基にして．．．
 - 実施すれば一攫千金？
 - 社会を変える
 - 日本を変える
 - 世界を変える
 - そんなデカイことを、、、と思いがちだが、、、
- GAFAMさえも、何も無いところから始まった！
 - いや、課題とアイデアはあった
 - みんなもスタート地点に立ってみよう！